早稲田日本語教育実践研究 第7号

目 次

【巻頭エッセ1 "Chemistry"	とそれをつなぐことば	.本間敬之	1
	竹線] な教育機関であるために―「開放性」から創出される接続な 		3
	' ート] 1・総合日本語 2 履修者実態調査報告 佐野香織・齋藤智美・鄭在喜・	・吉田好美	7
―教員と	成におけるルーブリック評価の再考 受講生の評価観点のずれとレポート産出の変化からの考察 至井一巳・鄭在喜・藤田百子・		15
	ャリア意識調査報告―日本語学習者のキャリア支援に向け 寅丸真澄・中山由佳・		23
[実践紹介] <			
身体を通し	て言葉の意味を理解するための試み	冷木由美子	31
「ら行」の多	&音指導―学習者にわかりやすく示す調音方法―	.泉水康子	33
154.154	での俳句・短歌・詩の授業 豊かさを体感し自身の言葉を掴んで自己表現―	工原美恵子	35
	トワーク構築のための連語による指導 ラスにおける語彙指導の試み―	.三好裕子	37
広く、楽し	く外来語を学ぶ	.仙波純子	39
自分に必要	な語彙を学ぶ	.小池真理	41
カタカナの	世界を見る	伊藤宏美	43
	て自然に語彙を習得する 場面に応じてオノマトペを使いこなす― ************************************	彡山ますよ	45

[研究報告]	47	
[年度報告]		
30 周年記念シンポジウム報告	49	
日本語科目登録者数		
わせだ日本語サポート NEWS	83	
投稿規程		
投稿募集		